

「東アジア文化都市北九州 2020▶21」について

1 東アジア文化都市事業の実施について

コロナ禍において、多くの人に文化芸術に触れていただき、「文化の灯」を絶やすことなく未来につないでいくため、コロナ禍における新しい生活様式を踏まえた文化芸術事業を企画・実施している。

(1) 北九州未来創造芸術祭「ART for SDGs」

SDGsの目指す未来へのビジョンをアートで表現する、北九州未来創造芸術祭「ART for SDGs」を開催し、市民を始め来場者に文化芸術に触れてもらうとともに、SDGsについて考える機会を提供した。



開催日時：令和3年（2021年）4月29日（木・祝）～5月9日（日）

※いのちのたび博物館は5月30日、美術館は7月11日まで会期延長

会場：東田大通り公園、いのちの旅博物館、東田第一高炉跡、北九州イノベーションギャラリー、環境ミュージアム、市立美術館、スペースワールド駅改札前広場

ディレクター：南條 史生氏

参加アーティスト：29組

来場者数：約53,000人（集計中）

※芸術祭の作品をアーカイブ化し、ネット上で作品を鑑賞できるツールを公開予定



【参加者の声】

【感想】

- ・これからの社会に重要な考え方をいろいろな角度から見せていただき大変面白かったです。
- ・楽しかったし、多様性について考えるきっかけになった。
- ・素晴らしい企画で、地球の環境についてより深く考えるきっかけになりました！
- ・子どもたちは、とても興味をもって観覧しました。コロナ禍での運営は大変だったと思います。ありがとうございました。
- ・親子で良い学びになりました。ありがとうございました。
- ・作品を通して子ども達に **SDG s** について理解を深めてもらえそう。
- ・環境に、興味を持った。
- ・アーティストのセレクト、今っぽさを切り取った美術素晴らしかったです。
- ・オープンでとても居心地が良かったです。
- ・コロナ禍で人が少なかったから作品が見やすくて良かった。ハーブマンの展示はもう少し高いほうがより人体を感じやすいのでいいと思う。
- ・作品の説明をスタッフから丁寧にさせていただき満足です。
- ・色々な場所で芸術に触れることができてよかった。
- ・人の形に植かえられた草花たちがきれいでした！普段見るものが一つ一つ薬効があることにとても興味が湧きました。途中途中に置いてあったボルトたちが近代化と関係してるように思えました。
- ・複数箇所に動き回るのが健康的で良い
- ・揚げパンがとても美味しかった！

【要望】

- ・コロナが落ち着いたらもっと盛大に、そして小学生や中学生向けに学校でお話等をしていただけたら嬉しいです。
- ・また来年も開催してほしいです！落合陽一さんの展示もお願いします!!トークショーとかもあると嬉しいです。
- ・もう少しボリュームがあってもいい。
- ・会期を長くしてほしい。告知をもう少したくさんしてほしい。

※アンケートで「イベントに参加してSDG sを意識できたか」の質問に89%の参加者が「意識できた」と回答。

(2) 交流式典

東アジア文化都市北九州 2020▶21 の交流事業の幕開けを内外に周知するため、交流式典を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、緊急事態宣言の発令により、一般観覧希望者向けにはオンライン (Youtube) での配信を実施した。

開催日時: 令和3年(2021年)6月6日(日)

会場: 北九州芸術劇場 大ホール

ディレクター: 柴田 英紀氏

概要: オープニング公演、主催者挨拶(文化庁長官)、中韓開催都市挨拶、中韓交流事業開始宣言(北九州市長)、文化交流公演

視聴回数: 3,319回(6月25日時点)
(中国語: 417回 韓国語: 229回)

※ 市民に観覧の機会を提供するため、生涯学習センター等で式典のアーカイブ映像を上映予定。



(3) これまでに実施した主な事業

事業名	件数	主な事業	参加者数
<u>主催事業</u> ・東アジア文化都市北九州のコア事業	9件	・小倉城薪能2020 (R2/10/3) ・KitaQ Music Days (R2/10/17~18) ・ART for SDGs (R3/4/29~5/9) ・交流式典 (R3/6/6)	700人 4,007人 約5万人 オンライン
<u>連携事業</u> ・東アジア文化都市に各局区室等が連携して取り組む事業	50件	・東京藝術大学スーパー・クローン文化財展 (R2/10/9~11/3) ・門司港アートワープ (R2/11/1~29) ・ウィーンフィルハーモニー管弦楽団北九州公演 (R2/11/5) ・再興第105回院展 (R3/4/21~5/12)	4,430人 - 1,700人 -
<u>パートナーシップ事業</u> ・開催経費の一部を助成する市民企画事業	18件	・朗読劇「黒い雨-八月六日広島にて 矢須子」 (R2/7/18) ・マリンバコンサート「アジアの歌」 (R2/10/23)	383人 110人
<u>交流事業</u> ・中、韓の開催都市との交流事業	6件	・中日韓書道篆刻家展 (R2/11/20~28) ・紹興市、敦煌市、順天市開幕式典 ・韓中日書道篆刻交流展示会 (R3/4/30~5/16)	-
合計	83件		

2 今後の取組みについて

東アジア文化都市の開催を契機として、「創造都市・北九州」の実現を目指すため、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しつつ、今年12月までの会期中、130件を超える事業を実施する。

(1) 主な事業

事業名	件数	主な事業
主催事業	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能饗宴（8/29） ・東アジア文学会議（9/20） ・アートシネマ（9～10月） ・小倉城薪能（10月） ・北九州FC国際映画祭（11月） ・北九州ポップカルチャーフェスティバル（11/27～28） ・閉幕式典（11/28）
連携事業	51件	<ul style="list-style-type: none"> ・2021北九州国際音楽祭（10～11月） ・北九州市障害者芸術祭（11/23～28） ・第76回県展（11/24～28） ・九州交響楽団第九公演（12/25）
パートナーシップ事業	71件	<ul style="list-style-type: none"> ・前進座90周年特別公演（8/11） ・KITAKYU JAZZ STREET（10/31） ・朝鮮通信使～雨森芳洲・誠信の交わり～（11/20～21） ・朝韓日中文化芸術公演「TOPPA!」（12/18）
交流事業	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年交流（10月） ・門司港レトロ食の祭典（10月） ・（仮称）ふるさと写真展（11月） ・紹興市、敦煌市、順천시閉幕式典
合計	136件	

※交流事業については、現在調整中

【参考】日中韓文化大臣会合及び関連事業

日本の東アジア文化都市開催都市である本市で、2021年の日中韓文化大会合の開催が予定されている。日中韓文化大臣会合とあわせ、日中韓芸術祭などの併催事業が予定されている。（開催時期未定）

(2) パートナーシップ事業（市民企画事業）の追加募集（四次募集）

東アジア文化都市北九州 2020▶21 のレガシーとして、文化芸術の担い手の掘り起こしを図り、市全体の機運を盛り上げるため、市民が企画・実施する文化芸術事業等の費用の一部を助成する「パートナーシップ事業」の追加募集を実施する。

募集期間：6月15日（火）～7月15日（木）

募集件数：発信プログラム（Ⅱ期） 上限100万円 5件程度
参加プログラム 上限30万円 15件程度

要件：以下の全てを満たす事業

(i) 9月1日から12月31日までに北九州市内で開催される文化芸術事業

(ii) 東アジア文化都市北九州の基本方針に合致する事業

【参考】東アジア文化都市事業件数

		主催事業	連携事業	パートナーシップ事業	交流事業	計
令和2年度	実施	5件	42件	14件	3件	64件
	中止	4件	25件	10件	5件	44件
令和3年度	実施	4件	8件	4件	3件	19件
	予定	10件	51件	71件	4件	136件
合計		23件	126件	99件	15件	263件

※令和3年度（予定）はパートナーシップ事業（四次募集）20件を含む数

3 機運醸成に向けた取組み

今後、より一層市民に事業を知ってもらい、東アジア文化都市を市民の記憶に残るイベントにしていくため、以下の取組みを推進していく。

(1) 青少年の参加

東アジア文化都市を通じて、次世代を担う青少年に文化芸術に触れる機会を提供し、その感性を高め、創造性豊かな人材の育成を図っていく。

① 北九州未来芸術祭「ART for SDGs」における取組み

(i) 見学ツアーの開催

市内の小学生（三年生）を対象に、SDGs をテーマにした作品を鑑賞するツアーを実施。

参加者数：約 800 名（見込み）



(ii) 作品制作への参加

八幡中央高校芸術コース生徒が、アーティストと共に作品を制作。

参加者数：約 60 名



(iii) 入場料の減免

会期中、博物館常設展・美術館コレクション展について、高校生以下の入場料を減免。

参加者数：17 団体 1, 281 名 (5 月 9 日まで)

(iv) アーティストによる出前授業

芸術祭参加アーティストによる出前事業を実施し、児童がアートやまちについて考える機会を創出。

参加者数：7 校 約 800 名



② 交流式典における取組み

交流式典の出演者が学校を訪問し、伝統芸能に関するワークショップを開催。

開催日時：令和 3 年 6 月 7 日（月）

実施校：田野浦小学校（約 90 名）

則松中学校（約 180 名）

講師：長唄囃子青年楽団 清響会
9 名



【ART for SDGs 作品制作に参加した高校生の声】

- ・作品を手伝いに行って、質問をした時、作品一つを作るのに色々な人が関わっている事を初めて知りました。作品の材料を運ぶ人や、レイアウト、広告など、ただ単にすごいセンスがあるだけでは駄目なのだと思います。色々な物や人に関わっていきたいと思いました。
- ・今回、本当に多くの事に触れ、学ぶことができました。SDGsについて話をしたりはするけど、実際に行動するのはなかなか体験できないので、良かったです。この取り組みをもっと多くの人に知ってもらい、みんながSDGsについて興味を持つことができれば良いと思いました。

【ART for SDGs を見学した高校生の声】

- ・ゴミアートはゴミでできているとは思えないほどカラフルできれいだったが、同時にこんなにもたくさんのゴミが捨てられているという事実に、環境を大切にしようと思った。
- ・いらぬものを捨てるのではなく、いらぬものを集めると一つのアートとして様々なものがつくれるのだと知りました。

【伝統芸能ワークショップに参加した小学生の声】

- ・いろんな楽器の説明をしてくれてうれしかった。
- ・初めて生で見た楽器もテレビで見るより迫力がすごくてびっくりした。
- ・楽器に動物の皮が使われていることを初めて知った。
- ・普通の大太鼓しか叩いたことがなかったので、お囃子も叩いてみたいと思った。
- ・今までテレビやネットでしか長唄を聞いたことがなかったけど、生で改めて聞いてみると、まさしくこれが日本の音楽だと思った。
- ・今回、長唄の演奏を見て、楽器などに興味を持ちました。自主学习などで調べてみたいと思います。
- ・楽器はこれまで、ピアノやリコーダーやカスタネットとかを見てきたけど、すごく古い楽器もあるんだなと思いました。

(2) SNSを活用した発信

イベントの告知や関連情報などについて、SNSの拡散力を活用した広報を実施している。今後、SNSを活用した市民参加の取組みも実施予定。

(公式 Twitter)



(公式 Facebook)



(公式 Instagram)



(3) 職員有志による積極的な広報活動

市職員が率先して東アジア文化都市を盛り上げ、市民のイベントへの興味関心を高めるため、市職員による出演者等へのインタビューや解説を行う動画を作成・公開したほか、イベントにおいて北九州市の魅力を発信するための取組みを実施している。



(交流式典出演者へのインタビュー動画)



(本因坊戦対局者へのインタビュー・囲碁の解説動画)



(芝野王座の小倉織 SDGs マスクの着用)



(本因坊戦対局場への北九州水道水の設置)